

# ほんべつ

いいひと いいまち いきいき ほんべつ



2

## 「福祉でまちづくり」 進化を続ける

第一期地域福祉計画・災害時要援護者避難支援計画・安心生活創造事業

6: 町民の健康維持と増進、病気の予防と早期発見に努めたい  
磯村医師が着任しました二トリ北海道応援基金町有林造林事業  
勇足老人クラブ創立50周年記念式典  
国民年金「一ナード

8

7月15日は平和への誓い新たに  
本別空襲の日

戦没者・戦災死没者追悼式ご参列のお知らせ

9: 知つておこう  
未来に輝く子どもたち／元気学宿

10

新型インフルエンザ

12: 地域の一大イベント運動会

14: 「相田みづを展」  
Part2  
心に響く書との出会い

16: 第六次本別町総合計画

ハロー勇足中学校  
マイタウン  
みんなの健康・銀河ホットライン  
ご寄付ありがとうございますなど  
本のある暮らし・わたしたちのまち

24 23 22 18 17



町内の小学4年生から6年生が、5泊6日の日程で日常の生活体験をしながら通学する元気学宿。今年の学宿に参加したメンバーたちです



## 計画策定の進め方

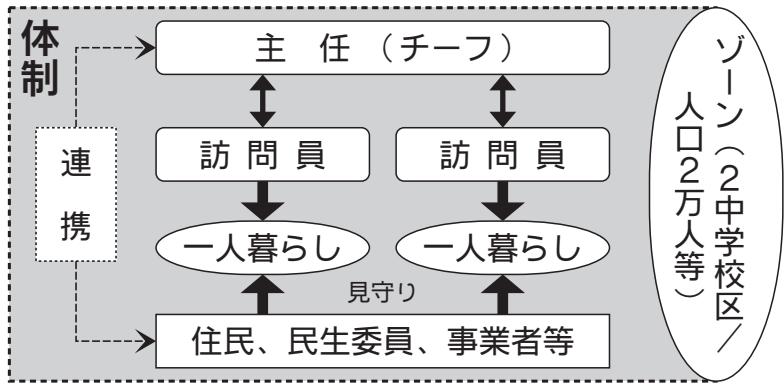
本年度中に個別計画に至るまでの前段、枠組みの計画となる「災害時要援護者避難支援計画」を策定します。

### 計画に盛り込む内容

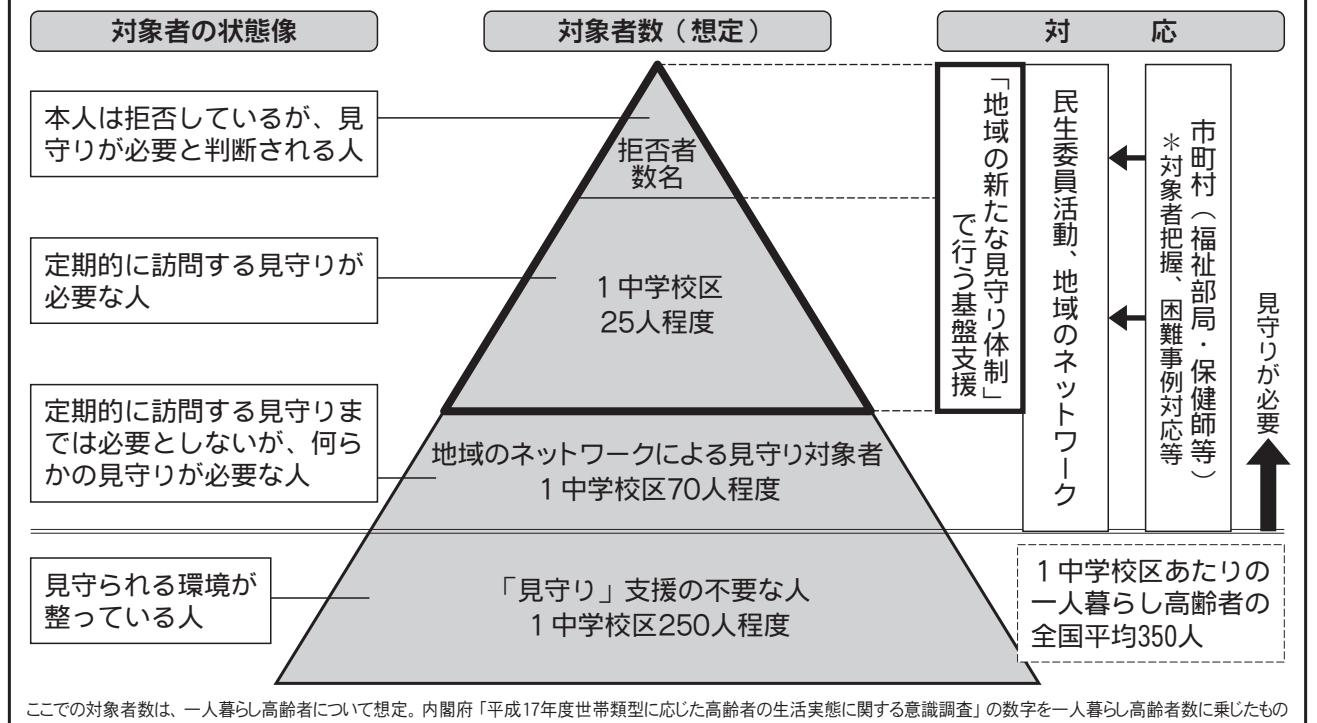
- 避難支援プランの目的や自助・共助・公助の役割分担などの基本的な考え方
- 避難支援プランの対象者の範囲
- 要援護者情報の収集・共有の方法
- 防災、福祉等の町部局や消防団、自主防災組織、自治会、在宅福祉ネットワーク等の関係機関との役割分担などの避難支援体制
- 避難準備情報や避難勧告、指示等の発令時の伝達方法
- 洪水・土砂災害ハザードマップ等の整備や活用方法
- 避難誘導の手段や経路等
- 避難所における支援方法や介護・障がい種別による避難所の機能分担
- 策定の目標年次、策定方法等の個別避難支援計画策定の進め方
- その他、要援護者マップの策定等、災害時要援護者の避難支援対策を進める上で必要な事項など

## 事業の進め方とイメージ

基盤支援対象者台帳の作成や基盤支援対象者調査、実際に支援対象者宅を訪問する「訪問員」の養成・研修を自治会や民生委員の皆様の協力により取り進めたいと考えています。また、社会福祉協議会の社会福祉士（三人）が町内の中学校区の担当主任となり、訪問員や地域との調整・事業展開を図ります。



## 1中学校区(全国平均)の一人暮らし高齢者



## 本別町が国のモデル地域に選定されました

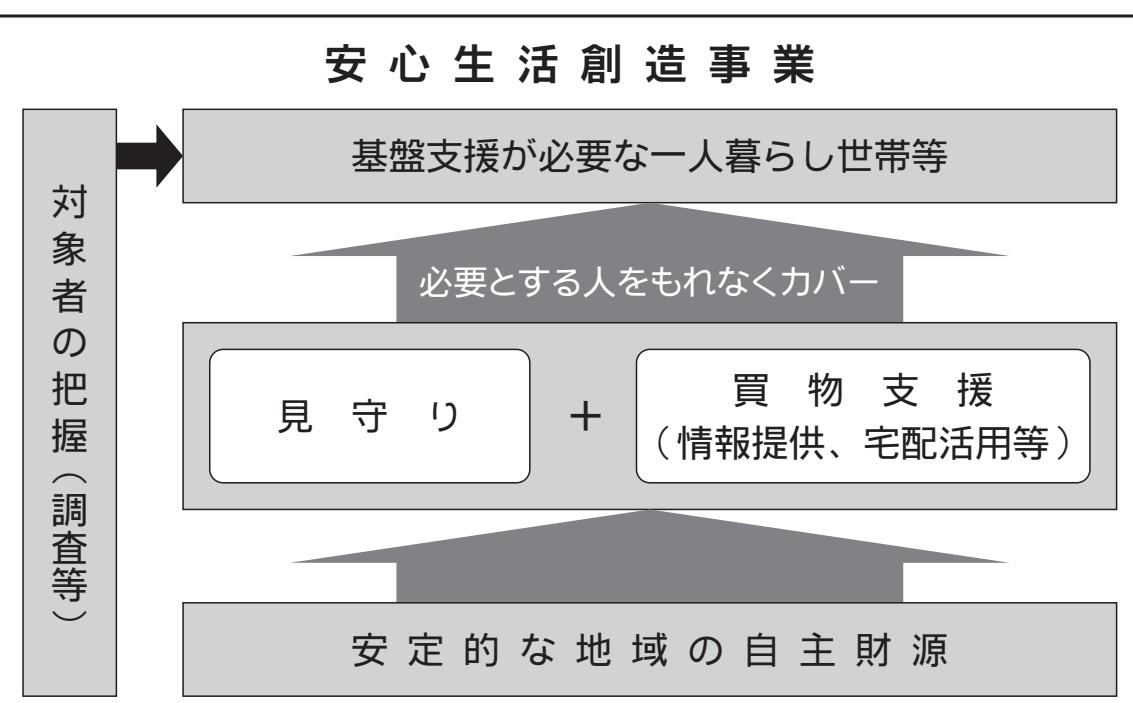
国は市町村との協働で地域福祉推進に取り組むため、モデル事業を実施し、その効果検証、意見交換、先駆的取り組みの情報発信等を行うことを目的に、自治体規模等を考慮し全国で55市町村を選定し、本年度から3か年（最大5年）のモデル事業に取り組みます。

北海道からは、「登別市」「東川町」「福島町」「本別町」の4市町が選定されています。

また、この事業の実施にあたり、次の3つの原則を充たし、地域の実情に合わせたプログラムを実施していきます。

- ①基盤支援を必要とする人々とそのニーズを把握する
- ②基盤支援を必要とする人がもれなくカバーされる体制をつくる
- ③それを支える安定的な地域の自主財源確保に取り組む

## 安心生活創造事業の実施



## 安心生活創造事業とは？

一人暮らしで相談相手がないなどの孤独感から、詐欺事件に巻き込まれたり孤立死するなどの諸問題が発生しています。このような中、家族のサポートが期待できない一人暮らし世帯等に対して、地域における支援の必要性が今後も増加していく予測です。

特に、日常からの「見守り」と生活に不可欠なものを調達するための「買物支援」が重要であり、地域生活を送る上で必要な二つの「基盤支援」を行なうことにより、一人暮らし世帯等が地域で安心して暮らせるようになります。「安心生活創造事業」です。

- 要援護者（登録者）の基本的な情報
- 要援護者（登録者）に対する情報伝達方法や避難経路、避難手段等の決定
- 支援者の氏名や連絡先、連絡方法など

### 台帳に盛り込む内容

- 次年度以降は要援護者の登録を受け付け、「個別避難支援計画（台帳）」を策定します。

※「一人暮らし世帯等」とは、一人暮らし高齢者・障がい者世帯、夫婦世帯、夫婦世帯、日中一人暮らしの高齢者・障がい者世帯などです

町民の健康維持と増進、病気の予防と早期発見に努めたい



## interview

5月7日から町国民健康保険病院の内科医長に磯村泰之医師（51歳）が就任し、診療にあたっています。

磯村医師は愛知県出身。昭和57年に岡山県川崎医科大学を卒業後、同大学附属病院、名古屋医大などを経て、平成10年から道内の門別町や士幌町の国保病院、帯広市内の民間病院に勤務されていました。専門は消化器内科。

## 町国保病院内科医長に 磯村泰之医師が 着任しました

磯村医師は「病院がとても立派である。医療・福祉施設がまとまって整備されているところが、他の町と大きく違うところ。仕事をする環境が整っているため、やりがいがある」と本別町の印象を話してくれました。

今後は、「町民の皆さんのがなれるよう、今までの経験を生かして、内視鏡などの検査機器も有効に活用しながらの医療を提供するとともに、町民の健康維持と増進、病気の予防と早期発見にも力を入れていきたい。また、時間を作つて町の色々な所にも足を延ばしてみたい」と力強く抱負を語ってくれました。

趣味は体を動かすこと

で「ウオーキング、アウトドアなどの時間を増やしていくんですね」と笑顔でお答えいただきました。

国民年金保険料の納付が困難なときは

経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な場合には、申請により保険料の納付が免除、猶予による制度があります。

保険料の免除や猶予を受けずに保険料が未納の場合、不慮の事態により障害が残つたり、死亡したとき、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられる場合があります。

免除申請が認められるには、申請者の所得（申請の時期によっては前々年の所得）が、国で定めた所得基準の範囲内である必要があります。

免除区分は全額免除と一部免除（3区分）があり、それぞれの免除期間のうち年金に反映される期間は、全額納付したときと比べ次の通りとなります。

一部免除			全額免除区分	受け取る年金額	全額・一部免除制度	
4分の1免除	2分の1免除	4分の3免除			全額免除	免除区分
6分の5	全額納付の5	3分の2	全額納付の1	全額納付の1	3分の1	受け取る年金額
①印鑑	②印鑑	③他の市（区）町村から転入された人は、前年の所得を証明するもの	④学生納付特例の申請については、在学証明書または学生証の写し番号のわかるもの	⑤失業などを理由にする場合は、「雇用保険受給資格者証」「離職票」	⑥	⑦

二トリ北海道応援基金の援助を受けた町有林造林事業

事業が、4月から5月にかけ実施されました。

昨年は同事業で、本別公園にエゾムラサキツツジなど1,400本を植える町民植樹祭が行われました。今年は町有林5.81haを樹齢や樹高の異なる樹木から構成される複層林にするため、42年生のカラマツ林を帶状に伐採した跡に、カラマツの苗5,600本を植栽しました。

複層林造成には、山崩れ等の山地災害防止や水源かん養などの森林の持つ機能の維持・増進を図ることができます。また、植栽した今後成長期を迎える若齡林（若い森林）は、二酸化炭素を吸収、蓄積する量が多いため、地球温暖化防止も期待できます。



応援基金

## 勇足老人クラブ創立50周年記念式典

勇足老人クラブ（伊藤友一会長：会員46人）創立50周年を祝う記念式典が6月15日、勇足生きがい館で開催されました。

同会の歴史の礎を築いてきた故人への黙とうで始まり、12代目となる伊藤会長が「50年前の先輩が残してくれた財産を大切にしながら、100年へ向かって歩んでいきたい」とあいさつ。続いて、同会への功績を称え糸田幸利氏、武市榮氏、堀本敬子氏へ感謝状が手渡されました。

式典後には、本別警察署勇足駐在所の平野昇氏による「振り込め詐欺と交通事故」についての講演や、会員手作りの赤飯などが振舞われた祝賀会も行われ、出席した約40人は入会当時の話を花を咲かせていました。



勇足老人クラブ  
昭和三十五年四月に戸井慎二氏を初代会長に、「福笑会」として約六十人で発足。その後、昭和四十一年十一月に現在の勇足老人クラブに改称

詳しくは  
住民課戸籍年金担当へ  
☎22-8128（課直通）

※さらに、30歳未満の人には、「若年者納付猶予制度」学生の人には「学生納付特例制度」があります

【申請手続きに必要なもの】

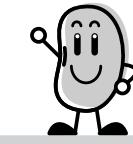
①年金手帳または基礎年金番号のわかるもの

②印鑑

③他の市（区）町村から転入された人は、前年の所得を証明するもの

④学生納付特例の申請については、在学証明書または学生証の写し

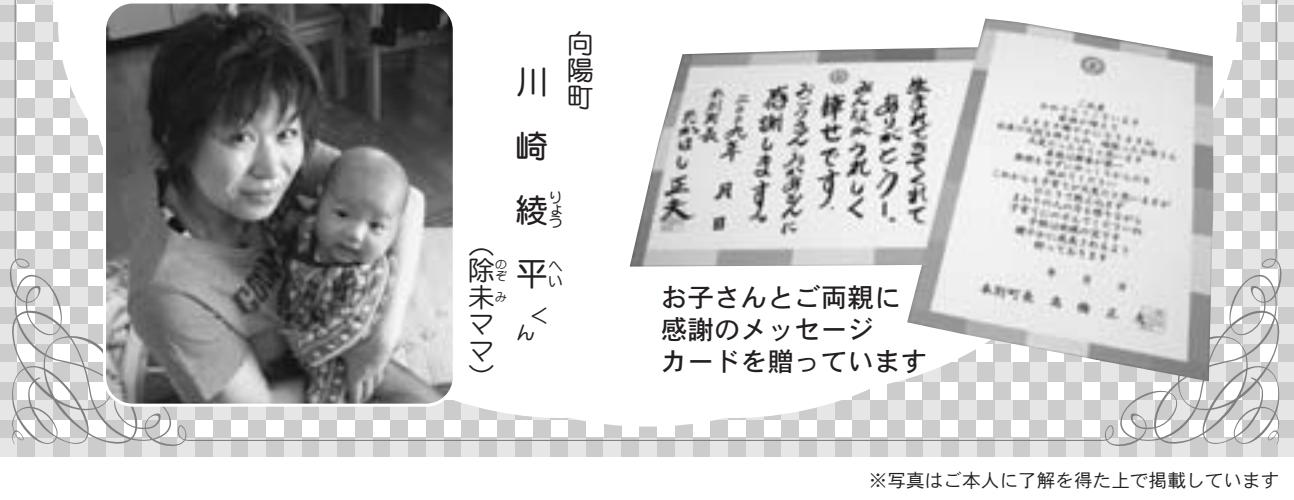
⑤失業などを理由にする場合は、「雇用保険受給資格者証」「離職票」



コ  
国  
民  
年  
金  
その81

# 未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。  
お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育つてね!



## 第7回ほんべつ 元気学宿



ほんべつ元気学宿（実行委員会主催＝山下健司実行委員長）が中央公民館を主会場に、6月14日から19日までの5泊6日で開催されました。

この学宿は、町内の小学4年生から6年生の子供たちが寝食などの生活体験をしながら、学校へ通う事業。期間中は、北海道教育大学釧路校の学生8人や地域のボランティアの協力を得ながら、食事作りや洗濯などに挑戦。お風呂は、ご家庭のお風呂をお借りする「もらい湯」を体験し、地域との交流も深めました。

19人の参加者は、普段あたりまえのように生活していた自分たちがどれだけ恵まれた環境で育っているか実感するとともに、6日間の共同生活を終え充実した表情をしていました。

**第**二次世界大戦終戦間際の七月十五日、本別町は十勝で最大の被災地となる空襲を受けました。本別町史には「米軍機は、まつたく非武装の本別市街を地上から乗員の顔やジャンパーが見えるほど超低空飛行で機銃弾を撃ち込み、爆弾を投下するなど、およそ五十分にわたり攻撃を繰り返した」とあります。四十人が死亡し、二百七十五戸が全焼。被災者総数は千九百十五人。火事は手のほどこしようがなく三日三晩に及び、一時は火の明かりで日常の作業ができるほどであったといいます。

空襲を受け3分の2が焼失した本別市街



それから六十四年がたち、町並みも生まれ変わり、今や戦争の傷跡を見つけるのも難しくなりました。空襲を受けた私たち本別町民は、この悲惨な戦争を繰り返さないよう後世に伝えていかなければなりません。本別空襲のあつた七月十五日には、空襲で犠牲になられた人や幾多の戦役で戦死された人のご冥福をお祈りし、二度と悲惨な戦争を起させないことを誓うため「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が行われています。そして七月十五日を中心に語り継ぐための事業が開かれます。

## 7月15日は 新たに 平和への誓い

黙とうをお願いします

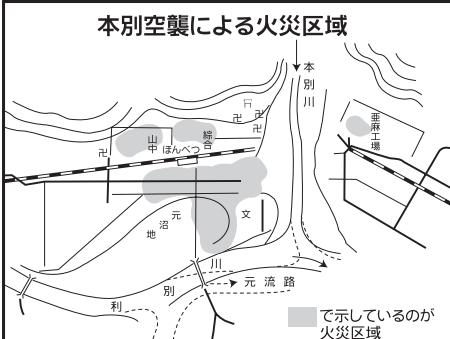
### 本別町戦没者・ 戦災死没者追悼式

とき 7月15日(水)午前10時  
ところ ふれあい交流館(向陽町)

今年も「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が執り行われます。

本別町では、日清・日露・第二次世界大戦の戦役で299人が戦死され、本別空襲において40人の尊い命が奪われています。

追悼式は午前10時に始まり、黙とう、追悼のことば、献花など犠牲者のご冥福をお祈りし、平和への誓いを新たにしています。町民の皆さんへの参加をお願いするとともに、黙とうを呼びかけるサイレンが午前10時10分ころに吹鳴されますので、一緒に黙とういただきますようお願いいたします。



本  
別  
空  
襲  
の  
日

# 新型インフルエンザ

新型インフルエンザは六月十一日に世界保健機関（WHO）で警戒レベルが世界的な大流行（パンデミック）といわれる最大のフェーズ6に引き上げられました。また、十勝管内でも感染者が確認されています。町では六月十五日に「本別町新型インフルエンザ対策本部」を設置し、感染拡大に備えています。町民の皆さんには、正しい情報に基づいて対応されるようお知らせします。

## 新型インフルエンザはなぜ怖いの？

新型インフルエンザは、病原ウイルスが従来のインフルエンザの型とは違ったため、世界のすべての人に免疫がなく、いつたん広がりはじめると大流行すると想定されています。症状は季節性のインフルエンザと同じ程度といわれていますが、次のような危険も報告されていますので、今後の情報に注意し、適切な対処に心掛けてください。

- ①現時点では、基本的には国民に新型インフルエンザウイルス（H1N1）に対する免疫がないことと、対応するワクチンができあがっていないこと
- ②慢性疾患（糖尿病や喘息など）を持っている人や妊婦などを中心に重症化する例が報告されていること
- ③ウイルスの感染力や病原性について未解明な部分があること
- ④感染を繰り返すことによりウイルスが変異して、より毒性の強いタイプになる可能性が高いこと



## インフルエンザと普通のかぜ（感冒）の違いは？

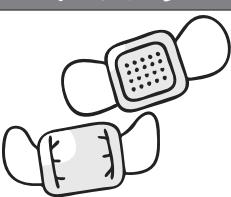
インフルエンザはインフルエンザウイルスによって起こるかぜ症候群のひとつですが、症状が重く爆発的な流行を起こすことから、普通のかぜとは分けて扱われます。特に高齢者や抵抗力の弱い人はインフルエンザにかかると肺炎や気管支炎を、乳幼児は脳炎や脳症を併発する恐れがあり、悪化すると死に至ることもあります。

	インフルエンザ	普通のかぜ
原因	・インフルエンザウイルス	・ライノウイルス、コロナウイルスなど多数の種類がある
感染力	・強い ・ウイルスが気管の粘膜で急増する ・感染後1～3日で発症	・弱い ・ウイルスは徐々に増える
症状	・38～40度の高熱、さむけ、体がだるいなどの全身症状を伴う ・鼻、のどなどにも症状が出る	・主に鼻、のどなどに症状があらわれ、発熱を伴うこともある
経過	・急激な高熱で発症し、重症化しなければ1週間程度で回復する	・長引くことが多く、2週間ほど続く人もいる

(上記は一般的な性質です。必ずしも同じ症状が現われるとは限りません)

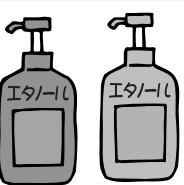
## 身边にできる予防対策

### マスク



感染防止に有効なのは「不織布製マスク」です。せきやくしゃみの飛沫散播を防ぐとともに、飛沫の吸い込みを防ぐ効果があります。マスクのフィルターにはウイルスがついている場合がありますので、使用中はなるべく触らず、1日1枚を目安に使い捨てにしましょう。

### 消毒剤



外出後や不特定多数の人がさわったドアノブ、扉、スイッチなどに触れた場合は、手洗いを徹底しましょう。せっけんやハンドソープをしっかりと泡立て、指と指の間や爪なども念入りに洗いましょう。洗ったあとは清潔なタオルで水分をふきとってください。

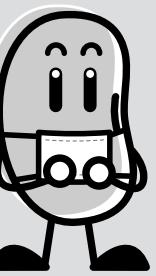
### 手洗い



**わたしはだいじょうぶ？**  
**新型インフルエンザの不安があるときは…**

最近メキシコやアメリカなど新型インフルエンザが流行している国から帰国した人や関西・関東方面に滞在した人で、急な発熱やせき、くしゃみなどの呼吸器の症状が出たときは直接医療機関を受診することは避けて、一度「発熱相談センター」にご連絡ください。もし新型インフルエンザに感染している人が一般の病院で受診した場合、他の患者や医療関係者に感染拡大する恐れがあります。また、急な発熱やせき、くしゃみなど体調が悪い人はできるだけ外出を控えるようにしましょう。発熱相談センターでは、相談者の渡航歴や滞在先、症状や経過などを確認し、適切な対処方法をご案内します。

**発熱相談センター 帯広保健所（十勝保健福祉事務所）**  
☎ 0155-27-8637  
☎ 0155-21-6399  
※平日の午前8時45分から午後5時30分



インフルエンザに関するお問い合わせ・ご相談は健康管理センターへ ☎ 22-2219

## 6/7 仙美里小学校・中学校合同運動会



いなばの黒うさぎ  
息を合わせて  
本中名物棒倒し

## 5/31 勇足中学校



力が入ります

中央小学校朝の風物詩、場所取り。  
わが子のために子供たち以上の走り  
を見させてくれました。

# 地域の大運動会

## 6/8 本別中小学校



今年も五月三十一日、六月六日、七日、八日に町内の小中学校で運動会、体育祭が開催されました。本番に備えて、練習を重ねてきた子供たちは、軽快な音楽が流れる中、学年の枠を越え、運動会スローガンの下に各種目に取り組みました。

各学校のグラウンドや体育館には、子供たちや家族の声援が響きわたり、地域の一大イベントを盛り上げました。地域の人が参加する種目も用意されなど、それぞれの学校で趣向を凝らした内容に、グラウンドに集まつた全ての人々が楽しい一日を過ごしました。

## 勇足小学校 6/6



紅白リレー  
阿波踊り

# ほんべつ学びの日 光風事業

子どもが明るく心豊かに成長できるように、そして大人も心から元気になることを願って

## 心に響く書との出会い

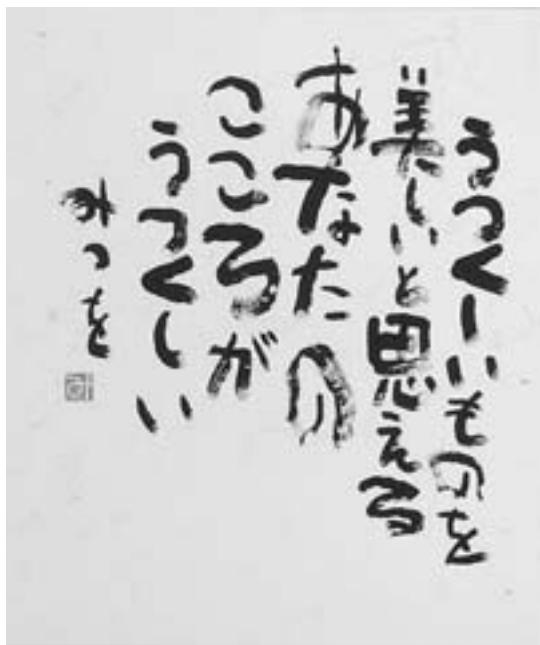
# 「相田みつを展」

9月16日（水）～10月4日（日）

午前9時～午後5時（入館は午後4時まで）  
※土・日曜日、祝日は午後8時まで（入館は午後7時まで）

## 中央公民館大ホール

特別協力	相田みつを美術館	主催	本別町・本別町教育委員会
協力		共催	本別町芸術文化事業振興会
後援		後援	本別町文化協会・北海道新聞社本別支局・十勝毎日新聞社本別支局



### ＜解説＞

「美しいものに素直に感動できる心を持つて欲しい」それが父の子供に対する願いでした。何故なら美しいものに感動する心とは、反対に戦争や犯罪などをすぐに間違っているとわかる心のことだからです。

そのためには、まず親が美しいものに感動しなくてはいけない。親が感動すれば、それが必ず子供へ伝わっていく。そして子供の中に感動する心が芽生える。父のユニークな考えです。もしかしたら、今の世の中に一番不足していることかもしれません。

親しみやすく、個性的な書体で表現された相田みつをの一つひとつ的作品には、みつをが筆を取る前に見つめた自分自身との葛藤や苦悩が秘められています。みつをの書は、心のまま、独学で書いたと思われますが、書家岩澤渓石に師事し書の基礎を学び、詩のリズムは短歌から学びました。その後、生涯の師となる曹洞宗高福寺の禪僧武井哲応老師と出会い禪の思想を学ぶ中で、みつをは老師に「古典ではなく、自分の言葉を書きたい。私は間違っているのか」と質問します。老師は、「それは当たり前、相田君は相田君の言葉を見つければいい」と答え、進むべき道を決めたみつをは一切の副業を持たずとことん自分の書と向き合いながら、自分の世界を探し求め、葛藤や苦悩にもがき、そんなみつをの作品の一部を紹介します。

### ＜解説＞

「仕事に失敗して苦しかったときに、この言葉に背中を押してもらいました。涙が出来るくらい優しい言葉ですね」という声を聞くことがあります。その反対に「おつかない言葉ですね。背筋がピンと伸びました」という感想を目にすることもあります。

見る人がそれぞれ自由に受け止めることができるが、相田みつを作品の特徴です。でも、これほど極端に意見が分かれることはほかの作品ではありません。つまずくということは、何かに真剣に打ち込まないと起りません。そういう体験があるかどうかで、作品の意味合いが180度変わってくるからでしょう。

### 入館料

- 一般 前売り500円（期間中は600円）
  - 高校生 前売り250円（期間中は300円）
  - フリー 1,000円（期間中は何度でも入場可）
  - 幼児、小学生および学校の授業での入館 無料
- ※団体割引（10人以上） 一般 500円/1人  
高校生 250円/1人

### チケット販売所

中央公民館、町体育館、町図書館、役場勇足・仙美里出張所、本別町芸術文化事業振興会各理事宅、藤丸チケットぴあ、かちまいサロン ほか

### お問い合わせ

中央公民館内文化振興担当

☎ 22-5111

子どもから大人まで多くの幅広い年代の皆さんがあなみつをの作品を見て、読んで、感じることで勇気や希望を持ち、そして心から元気になって欲しいと願っています。

この機会に改めて家庭・学校・地域が一体となって、地域の宝である子供たちをはぐくむことの大切さや私たち大人の学びの必要性を、やさしいことばを通して感じてください。

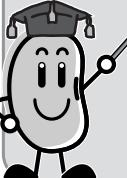
# 第六次本別町総合計画

Part2

平成十三年三月に策定した第五次本別町総合計画が、平成二十一年度に期間満了を迎えることから、新総合計画の策定に向け、五月二十五日に第一回目の策定審議会が開催されました。そこで、皆さんと一緒に計画を作り上げて行くため、今回からシリーズで新計画策定の進ちょく状況などについてお知らせしていきます。

## 総合計画とは？

総合計画（地方自治法第2条第4項を根拠に策定）とは、自分たちの「まち」を将来、どんな「まち」にしていくのか、そのためにはどんなことをしなければいけないのかを決めるとても大切な計画です。また、すべての町民の暮らしや産業活動などの幅広い分野にまたがる計画でもあります。



※地方自治法第2条第4項  
市町村は、その事務を処理するに当たっては、議会の議決を経てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るために基本構想を定め、これに即して行なうようにしなければならない

## 計画策定のポイント

### ★町民皆さんの参画

計画の目標を達成するには、町民皆さんの主体的な活動や協力が不可欠です。そのためには、計画の策定過程から町民の皆さんに参画をいただかなければなりません。

計画の策定についても行政が主導して進めるのではなく、町民自らが学び、考え、様々な手法を用いて、あらゆる層の町民の参画を可能にするとともに、計画推進における役割を明確にします。



第1回策定審議会の様子

### ★町職員の参画

全町職員がまちづくりの目標を共有するため、様々な施策の目的などについて認識を深められるよう、策定過程から積極的に参画し、情報共有に努めます。

特に、現計画（第5次）の総括に関しては、あらゆる情報を的確に把握するため各課・部局の横断的な情報交換を行い、将来の本別町の進むべき方向性を策定審議会委員や町民の皆さんと考えます。

### ★各種計画との整合

各分野における計画との整合を図ることはもとより、行財政改革大綱（集中改革プラン）とも整合を図り、実効性のある計画とします。

### ★分かりやすさの向上

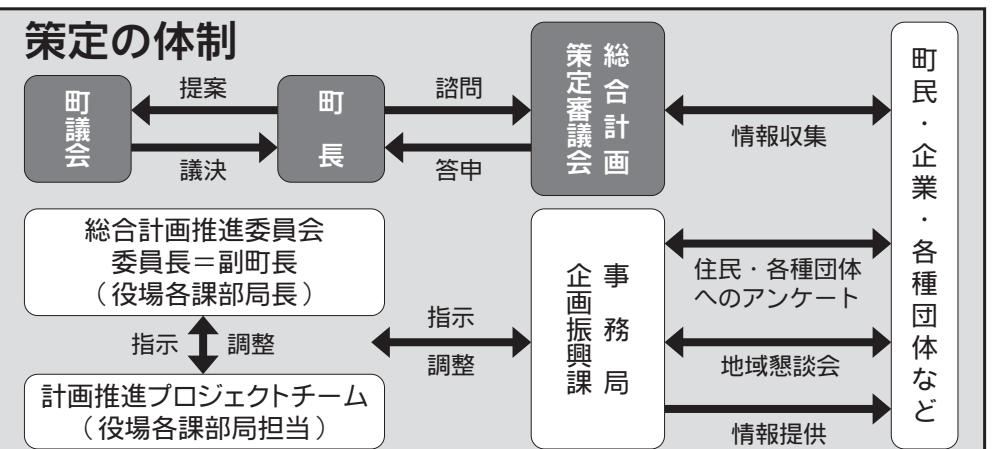
総合計画に関する情報の公表方法を工夫し、本町のまちづくりについて誰もが理解し説明ができるようにします。

## 策定審議会委員は どんな人？

町内各種団体からの推薦と一般公募により応募のあった人で構成されています。総合計画推進などに関する事項を調査検討したり、町長の諮問に応じて答申を行う組織。新計画策定審議会委員は、団体推薦21人、一般応募6人の計27人を委嘱しています。

## 策定の体制

総合計画についての問い合わせ  
企画・生涯学習担当  
企画・振興課  
2021-8121  
(課直通)



各学校の手作りページ

# HELLO 勇足中学校



今年の新入生は3人です



きれいな花が咲くといいね



雨中の大戦！



何回跳べるかな？

## 勇足中学校教育目標

- (知) 創造性豊かで高い知性を養う
- (徳) 豊かな人間性を育てる
- (体) 強靭で粘り強い体を鍛える

郷土勇足に根差し  
活力とぬくもりのある学校

勇足中学校は、「どのような目的で」「どのような教育を行つており」「どのような成果をあげているのか（確かな学力・豊かな人間性）」を簡潔でわかりやすく示し、率直な意見・要望・評価をいただき、教育課程の改善充実と教職員の資質向上に努めます。



バレー部美女軍団へ入部はいかが？



決め球は球速140キロ！



終わりのポーズは決まった！



3年生にとっては勇足中最後の運動会でした

ほんまにいい町へ

ほんまにいい町へ

## 町中が明るくなりました

5|29・30  
6|2・9

5月29日に、商工会女性部（小川睦子会長）の部員10人が、本別公園第2キャンプ場にエゾムラサキツツジ60本を植樹しました。また、5月30日には、病院ボランティアの皆さん、母子寡婦会、職員等24人が、町国保病院前花壇を、6月2日には、本別町市街地婦人会（田原美枝代表）の会員27人が、道の駅「ステラ★ほんべつ」西側の花壇を、6月9日には、JA本別女性部（篠原壽美江部長）の部員42人が、本別大橋から本別高校までの通学路の花壇整備を行いました。植えられた花はいずれも、毎年参加者が育てたものが提供されており、施設を訪れたお客様や通行人をきれいな花で迎えられるよう丁寧に植えられました。



## まちを花で飾ります

5|29

本別町自治会連合会（佐々木哲夫会長）が5月29日、「花いっぱい運動」を行いました。花とみどりあふれるまちづくりを目的に毎年行われ、今年も国道沿いの花壇や公共施設などを、15自治会が整備。参加した人たちは、慣れた手つきで花の苗を一つひとつ丁寧に植え付け、花壇が花で飾られました。



## 高齢者交通安全勉強会

5|26

高齢者の交通事故が後を絶たないことを受け、本別町交通安全母の会（田西喜代代表：16人）が5月26日、町内市街地区の高齢者と老人クラブ会員を対象に「高齢者の交通安全勉強会」を町体育館で開催しました。「高齢者の事故防止」と題して、本別警察署内海輝雄地域交通課長が講話し、「昨年北海道の交通事故死の50%近くが、65歳以上。悲惨な事故をなくすために、夜間の外出時には夜光反射材を付けてほしい。また、視力・聴力も落ちてくるので過信をしないでほしい」などと交通事故防止を訴えました。また、昼食を食べながら交通事故事例とその防止策についてのビデオ鑑賞も行われ、会場を訪れた約130人の参加者は真剣な眼差しで聞き入っていました。



## 野外で交流

5|28

町社会福祉協議会（糸田達一会長）による、子供から高齢者、障がい者など幅広い人が集う「銀河サロン」が5月28日、本別公園ステージ前で開催されました。毎年初夏の恒例行事として野外で実施されているこの日のサロンでは、カラオケ、ダンスで交流した後、焼肉に舌鼓を打ち、最後に宝探しゲームも行われ、参加した約50人は楽しいひとときを過ごしました。



## 今年も好評！ 生ごみ堆肥無料配布

5|23

本別町保健衛生組合（椿原安夫組合長）による生ごみ堆肥の無料配布が5月23日、河川運動公園で実施されました。この堆肥は、銀河クリーンセンターに集められた生ごみから、1か月ほどかけて作られたもので、栄養分の高い堆肥と好評。早朝から約70人が集まり、それぞれが持参した袋などに詰めて持ち帰りました。



## 今年もボランティアで まちがきれいになりました

5|21・30 6|10

5月21日に本別ライオンズクラブ（糸田達一会長）の会員17人が、本別公園から大通橋までの本別川河川敷の清掃作業を、5月30日に町内の郵便局職員（代表：佐々木健樹本別郵便局長）20人が、役場前憩いの広場で、6月10に本別町老人クラブ連合会（鎌田一平会長）の役員25人が、町総合ケアセンター中庭で草取りのボランティアに汗を流しました。



## 国道沿いが花で 飾られました

5|23

帶広開発建設部の補助を得て南4丁目自治会（菅野正義会長）が5月23日、国道242号線沿いの花壇整備を実施しました。あいにくの雨模様でしたが、自治会員総出でサルビアとベコニア3,950本が一本ずつ丁寧に植えられました。



## 創造力を豊かに！ ふれあい授業

5|22

本別中央小学校（工藤雅史校長）の5年生（50人）が国語の授業の一環として5月22日、「五月になれば」（教育出版5年生上巻掲載）の作者加藤多一さんによるふれあい授業を受けました。子供たちは、加藤さんによって作品への素朴な疑問が解かれるたび、さらに想像を膨らませ、作品の良さを感じていました。加藤さんは、午後から勇足小学校ふれあい授業を、夜には本別中央小学校開校40周年事業としてPTAを対象に「こどもを本好きにする方法はある」と題して講演しました。



## 普通救命講習

本別消防署による一般町民を対象とした普通救命講習が6月16日、消防署講堂で実施されました。消防署職員2人が講師となり、応急手当の重要性などのビデオを見た後、実際にダミー人形を使い、人口呼吸や心肺蘇生法を体験。参加者は、説明を受けながら真剣に救命法を学びました。



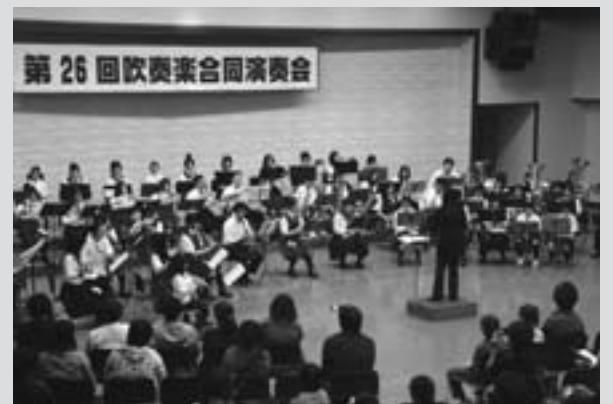
**大勢の人で  
にぎわいました**

町民と商店の触れ合いの場としてお馴染みの「夜でかけナイト」(実行委員会主催)が6月19日、北1丁目から北5丁目までの商店街前で開催されました。当日は、少し肌寒い天候ではありましたが、子どもから大人まで大勢が町に繰り出し、屋台や街角ライブ、お米などが当たる抽選会などでにぎわいをみせていました。



迫力の演奏で  
観客を魅了

第26回吹奏楽合同演奏会（町文化協会主催）が6月13日、中央公民館大ホールで開催されました。小中高生と社会人が同じステージで曲を奏でる文化交流を目的に、本別ジュニアアンサンブル（本別中央小学校）、本別中学校吹奏楽部、本別高等学校吹奏楽部、本別プラスアンサンブルの4団体が出演。各団体の演奏後には、この春、初めて楽器に触れた子供たちからベテランまで、総勢66人による合同演奏が披露され、「美女と野獣」などアンコールを含め4曲の迫力ある演奏で会場に集った約250人の観客を魅了しました。



# 訓練の成果を披露

本別消防団（遠藤利之団長）の第1・  
第2・第3分団が合同で開催している本別消防団  
合同演習が6月14日、利別川河川運動公園芝生広  
場で開かれ、団員83人が日ごろの訓練の成果を披  
露しました。雨の降りしきる悪天候でしたが、会  
場には緊張感が漂い、力強い号令が響く中、参加  
した隊員等は、きびきびとした動作で小隊訓練、  
ポンプ操法などを披露しました。



# 道の駅に鉄路が復元

6月10日、町で鉄道記念館として  
整備を予定している道の駅「ステラ★ほんべつ」駐車場内の渡線橋下に、鉄路28mが復元  
しました。作業は6月3日から始められ、10  
日には国鉄OBも加わり、レールを枕木に止  
めるために鉄のハンマーで犬釘を打ち込む作  
業が実施されました。信号機や標識も設置さ  
れるなど約3年振りに懐かしい姿が再現され  
ました。



## 環境保全活動功勞者 表彰知事感謝狀受賞

本別町保健衛生組合（椿原安夫組合長）が環境保全活動功労者表彰を受け、6月12日に役場で伊藤敏彦十勝副支庁長から椿原組合長へ知事感謝状と記念品が伝達されました。これは、長きにわたる清掃指導や資源回収事業をはじめ、平成15年度から4年間リサイクル率全道1位を達成するなどの功績が認められたもので、本年度道内唯一の受賞。椿原組合長は「うれいしいの一言。これからも、先輩から引き継いだことをやっていきたい」と受賞の喜びと、抱負を語りました。



第9回 東京本別会総会

第9回東京本別会総会が6月6日、都内千代田区のイベントホールで開催されました。来賓として訪れた高橋正夫町長は、「皆さんのがふるさとは本別町ですと胸を張って言えるまちづくりを進めます」とあいさつ。総会では、ふるさと産直フェアへの参加や役員改選を決め、懇親会では近況を語り合い話に花を咲かせていました。会場に設置された町特産品販売コーナーもにぎわい、キレイマメや地元企業から提供のあった特産品が当たる抽せん会などで盛り上がりしました。約90人の出席者は、最後に会員の豊山州生さん（横浜市）のフルート伴奏で「故郷」を合唱し、再会を誓いました。



# 孫育て講座 歯はとっても大事！

家庭支援・教育事業なかよし「おじいちゃん・おばあちゃんのための孫育て講座」が6月10日、賀陽歯科医院の賀陽真哉院長を講師に子育て支援センターで行われました。賀陽院長は「元気で健康な子どもに育てるためには、まず、歯やあごが丈夫であること、そのためには断続的におやつを与えること、しっかりと正しい歯磨きをすること。また、大人も歯を大切にすることで、体調不良が解消されます」などと、歯の大切さについて説明。参加した祖母ら10人は、真剣に耳を傾けていました。





# 広報ほんべつ

## 第969号

平成21年7月1日発行  
印刷／本別印刷株式会社

### お誕生

林 遥 真くん 翔一さん 5/14 勇足西4  
佐々木詩葉ちゃん 洋輔さん 5/21 上本別  
倉崎 笑歌ちゃん 正彦さん 5/25 勇足東3  
濱名 瑛太くん 剛広さん 5/27 美里別東中

### ご結婚

(道) 下 誠さん 仙美里2  
(原) 田 絵 美さん 帯広市

### おくやみ

山田 勝治さん 65歳 5/13 奥仙美里  
今野 茂子さん 82歳 5/20 上押帶  
島 秀夫さん 77歳 5/22 新町  
小林 一雄さん 70歳 5/28 西仙美里  
佐渡キヨ卫さん 85歳 6/1 南1丁目  
太田 征一さん 68歳 6/4 仙美里元町

### わたくしたちのまち

前月比  
人口 8,611人(-4)  
男 4,243人(-3)  
女 4,368人(-1)  
世帯数 3,950戸(+6)  
〔5月末日住民基本台帳〕



# できました! 手づくり絵本

## 図書館ファースト・ブック事業

今年4月にスタートした図書館ファースト・ブック事業、第1号の手づくり絵本ができあがりました。

「参加してよかったです！とてもいい記念になりました」と喜びを語るのは、7月末に出産予定の鈴木奈央さん。『実は参加申し込みをするとき、勇気がいりました。初めは絵本を作るなんて難しいと考えてしまったり、図書館も知らなかったからです。でも、図書館で楽しい雰囲気の中、親切にサポートしてもらったので、うまく作れました。家族も予想外にいい出来と言ってくれましたよ。』

鈴木さんは初めての出産をひかえ、「赤ちゃんが本を好きになって、やさしく育ってほしい」と思い、参加してくれました。

赤ちゃんの誕生が楽しみですね！



鈴木さんと完成した  
絵本「ありがとう」



図書館で製作しているところ



最後のページは、「○○ちゃん、パパとママをえらんでくれてありがとう」となっていて、赤ちゃんの名前が決まつたら書き込みます。

お問い合わせ先  
**本別町図書館**  
(愛称: ぶっくるーお)  
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

発行 本別町

企画振興課  
広報電算担当

住所 北海道中川郡本別町  
北2丁目4番地1

電話 0156-22-8121  
(直通)  
FAX 0156-22-3237

ホームページ  
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>